日本航空 OB 乗員 有志の会ニュース

2012. 11. 14

No.12-075

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob@gmail.com

安全で明るい JAL

日本航空 2012 年 9 月中間連結決算

営業利益 1121 億円(前年同期比 5.7%増)

中間期としては過去最高

今年度の営業利益予想も 1650 億円に上方修正

毎日新聞　2012 年 11 月 03 日　より

日本航空：９月中間決算　営業益最高１１２１億円

日本航空が２日発表した１２年９月中間連結決算は、円高を背景に国際線が好調だったことなどから、本業のもうけを示す営業利益が前年同期比５．７％増の１１２１億円と中間期としては過去最高を確保した。また１３年３月期予想については、日中関係の悪化による中国線の旅客減などを見込み、売上高を当初予想より５０億円引き下げたものの、コスト削減をいっそう進めるとして営業利益は１５０億円引き上げ１６５０億円に上方修正した。

東日本大震災の影響で昨年は大きく落ち込んだ需要が国際線・国内線ともに回復。特に欧米や東南アジア向けの旅行需要が旺盛で、国際線の旅客数は同１７．７％増に上った。中国線は国際線事業全体の収入に占める割合が通常１割程度に過ぎないため、中間期の影響は軽微にとどまった。一昨年の会社更生法適用に伴う減価償却費の削減などで２３０億円程度の利益押し上げ効果も働き、最終（当期）利益も過去最高を更新した。

１３年３月期については、中国線の旅客減で最大１００億円規模の減収を予想するが、採用抑制による人件費の削減や、部門ごとにコストと利益を明確にする「部門別採算制度」の徹底でさらにコスト削減を図る計画。記者会見した植木義晴社長は「収益の最大化と費用の最小化に努め、筋肉質な経営を維持したい」と強調した。

ライバルの全日本空輸は先月末、１３年３月期の連結業績見通しについて、中国線の旅客減などから、売上高を当初予想より３００億円引き下げて下方修正し、利益予想は据え置いた。全日空の中国線は国際線事業収入の約４分の１に上り、業績に与える影響は日航に比べて大きい。利益予想を上方修正した日航との格差は一段

と広がった形で、両社の最終利益予想は１０００億円の開きが生じた。「公的支援を受けた日航と同じ土俵で戦うのは不公平だ」と訴えてきた全日空の不満がいっそう高まりそうだ。

その一方で

人材流出由々しき状況

懸念される安全劣化

phoenix265 号より

組合「整備は中堅のライセンスを持った人が同業他社に流出し……ているが、会社はどう考えているのか」

整備担当専務「退職者の件は、由々しき状況にあると考えている」「我々が育てた整備士が違う（会社の）道を歩むのはなんとかしなくてはいけない」

１０月１０日、ＪＡＬユニオンとの経営協議会でのやりとりです。

日本航空の人材流出（退職者）問題は、労働組合との協議の場で経営が「由々しき状況」と言わざるをえないほど深刻なものになっています。２０１１年１月以降、日本航空の整備士・パイロット・客室乗務員の退職者は約千名に上ります。

１０月５日、日本航空は来年４月に２９０名の客室乗務員採用を発表しました。当初より９０名増やし、かつ一部は繰り上げて３月から訓練に入るとしています。客室乗務員の採用はすでに７月５１０人、１０月１４０人となっていますから、２９０人を合わせると１年間で９４０人の採用数となります。

客室乗務員の職場状況については本紙も、休憩時間なしの１４時間勤務や、有休が取れず「結納の日取りが決まらない」、管理職から「結婚式の日取りを変えて頂けないかしら」と言われたなどの、厳しい年休取得制限の実態を報じてきました。こうした実態を踏まえＣＣＵが労基署に相談したところ、「不許可の返事に当事者が何のアクションも示さなければ不許可に同意したことになる。同意しないで繰り返し申請し、最終的に『私は休みます』と伝えて実際に休み、それで賃金カットされれば違法にな

る」との見解。

運航乗務職では、１０月１０日の経営協議会で「ライセンス未取得訓練生の訓練中止撤回」と「副操縦士昇格訓練の再開」の回答が示されました。日本航空は２０１０年６月、ライセンス未取得訓練生は「今後訓練に投入しない」ことを決めました。この決定に、乗員組合は争議権を確立し撤回を求めてきました。乗員組合は引き続き、「全ての訓練を２０１３年中に再開」「全ての訓練生が副操縦士に昇格」を求めていきます。これらの問題は、運航乗務職における人材流出の背景となっていました。

人材流出問題はグランドハンドリング部門でも深刻です。ＪＧＳグループでは「資格をとったら辞めて同業他社に行った」「某社の採用試験日に２０数名が年休で休んだ」。ＪＧＳ経営は「社員が別会社の作業着で働いているのは避けたい」と言いますが、流出は止まっていません。労組は「ＪＧＳは職業訓練所と言われている」と指摘しています。

「日本航空Ｖ字再生」の陰で、安全の層は劣化しています。

航空労組連絡会の「phoenix265 号」へのリンク